

木造家屋建築工事における踏抜き災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	17～ 18	新築そっくりさん工事において、1階床断熱材、床合板の施工を行っていたところ、根太間の床断熱材であるグラスウールを誤って踏み抜き、右足脛を根太に強打し負傷した。	57	—
3	9～10	解体現場にて、解体作業中に出た木材の積み込みの際、トラック荷台で廃材を整理している最中に木材から突き出した釘で右足裏を負傷した。	41	1 ～ 9
4	9～ 10	作業中に床板がはずれ、落とした時に垂木にひざがあたり、左足を打撲した。	64	10 ～ 29
5	10～ 11	個人宅新築工事現場において、床合板を貼る作業中、誤って足を滑らせ、床下の排水配管の支持金具のボルトを踏み抜き左足甲を負傷した。	40	1 ～ 9
6	16～ 17	個人宅リフォーム工事現場において、木工事造作作業中、床に置いてあった古材に釘が刺さっていた為、気付かず踏んでしまい受傷した。	24	1 ～ 9
7	11～ 12	解体工事作業中、現場内に落ちていた木の板にクギが刺さっていたが、それに気付かず踏んでしまい、クギが上を向いて刺さっていたため、左足裏上部を負傷した。負傷日より痛みは少しあったが、仕事が出来た程度の痛みだったため就業を続けたが、痛みが酷くなってきた。	51	1 ～ 9
	11～	リフォーム工事中、家の中の解体作業中に板に刺さっていた釘を誤って左足で踏ん		1

10	12	でしまう。大丈夫だと思いそのままにしていたら、化膿して足が腫れてきた為、通院し入院となる。	61	～ 9
10	9～ 10	木造平屋建家屋解体中の天井の上で本棟接続部分を手作業で解体中に、天井を踏み抜いて屋根垂木材に接触（足元未確認、不注意）、バランスを崩して垂木材に接触した際、左胸部を強打した。	63	10 ～ 29
11	16～ 17	木造住宅の外壁材の撤去作業中、撤去した木材の積み込みをしている時、下に置いた木材の上を歩き、右足で釘を踏んだ。翌日は通常の作業をしたが、翌々日朝に足が腫れ、痛みが出てきた。	56	1 ～ 9
12	16～17	会社の工場の片付けをしている時、釘を踏んだ。皮膚科を受診したところイボと診断され、治療を受けたが悪化し、別の皮膚科に転院したところ、バイキンが入り腫瘍ができていると言われ手術をした。	19	1 ～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html